



平成18年11月9日

各 位

株式会社 ヨロズ

横浜市港北区樽町三丁目7番60号
代表取締役社長 志 藤 昭 彦
(コード番号 7294 東証 市場第一部)
問合せ先 取締役管理部長 河原 清
(TEL. 045-543-6802)

平成19年3月期 中間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年8月24日第1四半期業績発表時に公表した平成19年3月期 中間期(平成18年4月1日～平成18年9月30日)の業績予想を下表の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成19年3月期 中間業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 18年8月24日 発表)	24,200	520	300
今回修正予想(B)	24,010	1,131	676
増減額(B-A)	△ 190	611	376
増減率	△ 0.8	117.5	125.3
前中間期実績	22,116	1,074	654

2. 平成19年3月期 中間連結業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 18年8月24日 発表)	56,300	1,150	770
今回修正予想(B)	55,870	2,400	1,790
増減額(B-A)	△ 430	1,250	1,020
増減率	△ 0.8	108.7	132.5
前中間期実績	48,848	1,269	1,177

3. 修正の理由

当期の単独業績は、売上高は前回予想を若干下回ったものの、グループを挙げて推進中の「ヨロズサクセスプラン(YSP)」の原価低減目標を過達したこと、及び為替が予想より円安に振れたため、経常利益、当期純利益ともに前回予想を大きく上回る見込みであります。

連結業績につきましても、連結売上高は前回予想を下回る見込みであります。利益面では経常利益、当期純利益とも前回予想を大きく上回る見込みであります。これは単独業績が予想を上回ったことに加え、北米の収益改善活動が成果をあげてきていること及びアジアが好調に推移したことによるものであります。

なお、通期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の業績予想につきましては、中間決算発表時に見直す予定であります。

以 上